

進路指導部通信

県立高等特別支援学校
進路指導部

2022. 11. 11 NO. 5

来週より1、2年生の現場実習が始まります。

本校では現場実習が春と秋の2度ありますが、春の実習はこの秋の実習と同じような形であるのに対して、秋の実習は1年生にとっては初めての校外の実習で、2年生にとっては職員の引率なく1～2名での実習となります。これまでは4名1組でお互いに協力できるようなこともあったかもしれませんが、これからは問題



があっても自分で対処していかねばなりません。そのような点で秋の実習は春の実習よりはハードルが高い、という印象を持っています。現場実習では電話対応ということで当番職員が早くから待機しているのですが、昨年の初日は遅刻や忘れ物といった連絡で電話が鳴りっぱなし、という状況でした（ちなみにこの春は現場実習関係の連絡で電話が鳴ることはほとんどありませんでした）。この週末、今一度交通手段や持ち物の確認、体調管理を行い、万全の態勢で実習に臨んで欲しいと思います。

いつも言っているように、行事の時だけ頑張る「行事人間」では真の力はつかず、日常生活での取り組みが大事になってくるのですが、行事というのはさらなる成長、またはそれまでの取り組みは十分ではなかったが、実習を通して自分自身が変わるきっかけになるという意義があると思っています。

保護者の皆様におかれましても、日々の送り出し、日誌記入、反省会への出席とご協力をお願いします。

3年生は昨年から延期となっていた修学旅行も無事終わりました。天候にも恵まれ全員がすべての旅程を全うできたとのこと。良い旅行となったようで何よりです。今後は進路実現に向けて気持ちを切り替えて取り組んで欲しいと思います。もう内定が出ている人、旅行明けから実習に行っている人、企業からの返事を待っている人、まだこれからの人、人それぞれです。

まだ決まってない人は焦る気持ちもあるかもしれませんが、いつお話があってもいように日常生活を送るようにして欲しいと思います。

決まっている人へ。いつも言っているように「生きる力は働き続ける力」です。もうその取り組みは始まっています。決まったからといって安心せず残りの学校生活をしっかり送るようにして欲しいと思います。

大油
敵進



進路セミナーより

昨年、一昨年とリモートでの開催となった進路セミナーですが、今年は保護者はリモートでの開催となりました。また本校生徒は全員体育館に集まり3年ぶりに企業の方、卒業生を招聘しての進路セミナーとなりました。

やはり実際に動画を見て、話を聞くというのはいいものだと思います。

今回はより年齢に幅を持たせて卒業生に来てもらうようにしましたが、年数を経た分仕事の技能が向上しているのは当然ですが、「働く意識がしっかりしている」という気がしました。

自分のことよりも会社のため、利用者の方のため、お客様のためという言葉が自然に出てきているように思い、逆に教えられた気がしました。

皆さんはどのようなことが印象に残っているのでしょうか？

セミナー終了後、会社の方と話をしたのですが、「生徒の皆さんの聞く姿勢がよかった」と褒めていただきました。確かにメモを取りながら話を聞こうとする姿勢が感じられ、良かったと思います（3年生の修学旅行でもガイドの方の話をメモを取りながら聞いていた人もいたそうで・・・）。



オープンキャンパスのお知らせ

阪神友愛食品(株)能力開発センターより1、2年生対象にオープンキャンパス（12月17日（土））の案内が来ています。1、2年生全員にチラシを持ち帰らせていますので希望される方は直接申し込んでください（学校からの引率はありません）。

兵庫県には友愛食品の他に伊丹市（国立県営兵庫障害者職業能力開発校）、神戸市西区（兵庫県立障害者高等技術専門学院）と3つの職業訓練校があります。友愛食品は阪神地区7市1町（尼崎、芦屋、西宮、伊丹、宝塚、川西、三田、猪名川）在住者に限られます。

かつては「就職のための訓練をする進路先」ということで1学年で10名以上が進路先として訓練校に進んだ年もありましたが、雇用が拡大したり移行支援事業所等が整備されてきたりする中で、ここ数年は少なくなっているのが現状です。